

2度の県議選に挑戦して④

橋元 陽一

告示後の佐川町(斗賀野)、四万十町、越知町での個人演説会では、憲法をいかに社会を皆さんと一緒に実現していきたいと訴えました。これまでも苦勞しながら働き、子育てをして生き抜いてきた皆さんが、地域で周りの家族、知人、友人の方々に、30年、50年先に子どもや孫たちが人間らしく豊かに生きていくことができる地域社会の実現をしていくために、政治をどう変えていくのかをそれぞれ自身の人生活きざまを語りながら、選挙戦をたたかい抜きました。

4年前とは全く異なり、「日本共産党県議候補者としての橋元陽一」への支持の広がりを実感しながら、たたかうことができました。皆さんに感謝申し上げますと共に誇りにしたいと思います。そして、アメリカいいなりのままに「海外で戦争する国づくり」、原発の再稼働、沖縄新基地建設の動き、TPP参加への動きなど、財界・大金持ち優遇政治を進める安倍政権への不安と怒りの声が上がっていること、その安倍政権を後押しする自民党県議団の県政支配への批判が現われてきていると確信しました。

産ができたことと確信しています。4年後は選挙区の改定も予測されます。憲法をいかに県政のあり方、国政のあり方を、追求し実現していくたたいは続きます。候補者としてたかう道とは別の道で、「すこやかに生まれ、すこやかに育ち、すこやかに老いる」ことができる安心して生きることができる社会の実現に向けて、活動を続けていきます。

一緒にたたかって戴きました皆さん、ありがとうございました。(終わり)

第29回日本高齢者大会

歌って 歌って 歌いまくり

小澤幸次郎



「まぢから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう」を合い言葉にした日本高齢者大会が和歌山市内で開かれました。戦争か平和かの岐路にたつ緊迫した情勢のなか、今回のテーマは、「戦後70年、憲法をいかに格差のない公正な社会を」です。悲惨な戦争を体験し平和・非戦の日本を築いてきた高齢者が、日本を「戦争する国に」させないために語り行動しようとして交流しました。

二日間で全国から述べ5100人(高知県からは24人)参加。「高齢者を巡る情勢と運動の課題」「医療・介護問題」や「憲法を学ぶ学習講座」、「高齢者の働きがい・生きがい」、「高齢者と人権」など、また、移動分科会では、「誓



しかし、一緒にたたかって戴いた皆さんと共につくりあげた新たな財

油発祥の地湯浅と稲村の火」 「国指定名勝和歌の浦万葉コーズ」 「住民運動で残した貫志川線に乗ってニタマ駅長会おう」など、和歌山の歴史、自然文化に触れる多彩なテーマの分科会で意見交換しました。夜の企画は、100人を大幅に超える大盛況のいき酒会(うらやましい)、そして「うたごえ広場」は、スタッフを入れて150人が参加。歌好きが集えば言葉はいらない。歌って歌って歌いまくりました。

二日目の全体会は、海南民商太鼓「響」のみなさんによる力強い演奏で始まりました。現地実行委員長、中谷吉治さんは、「将来子どもたちに、その時大人は何をしていったのと言われぬようにしましよ」と挨拶。立命館大学名管教授安齊育朗さんの「戦後70年日本の未来へのメッセージ」記念講演。アピール行動として、参加者が「戦争あかん」と書かれたプラカードを掲げ、「戦争法案許さないぞ」「安倍政治を許さないぞ」と唱和しました。各地の報告では、安倍政権の「原発再稼働・ Fukushima切り捨て」を跳ね返します(福島)、「沖縄と日本の未来を開くため、全国と連帯して辺野古新基地建設反対を訴えます」(沖縄)の発言に大きな拍手が送られました。

スポーツの秋 実りの秋

高教組委員長

竹島久美

私の勤務する高知農業高校では、10月二日に体育祭を行いました。雨で一日順延となりましたが、テレビカメラも来ていて、動物も出場する借り物競走や、トラクターを人力で引っ張る競技などをうつしていました。去年は、鶏をつかまえて運ぶ競技で大量に鶏が脱走し、先生やら生徒やらで追っかけている映像が流れ、今年は、ポニーがコースをはずれてグラウンドを駆け回っている映像が流れました。にわとりも走るとけっこう速いのですが、ポニーは小さい

高退協発足40周年 望年会・芸能大会

- ・日時 11月29日(日)15:00~17:30
- ・場所 高知城ホール4Fホール
- ・展示作品はこの時、持ってきてもらおうか、事前に事務局が取りにいくか…連絡下さい。

とはいえやはり馬、速かったです。

本来体育祭の予定だった10月一日には、ほぼ一日かけて、十一月の学園祭のときに校舎につり下げのモザイク壁画の色紙を貼る作業を行いました。模造紙のマスキにあわせて、指定された色の色紙をひたすら貼っていく作業です。貼っている時は、いったいどんな絵のどの部分を貼っているのかさっぱりわかりません。絵柄は校内でも秘密で、実行委員など限られた生徒と先生しか知りません。

本校のように、体育祭と文化祭(本校は文化祭と言うより収穫祭という意味合いが強いです)を毎年両方行う学校は少ないようです。行事のためにこれだけ大胆に授業をカットする学校もなかなかないでしょう。落ち着いて勉強できる時期もほしい気はしますが、学校行事など様々な体験を通して生徒達がいるいるなものを得ていくのも事実です。受験体制にがっしりと組み込まれていない珍しい学校になってしまいました。

----高退協40周年スキー案内----

日程 2016年2月21~24日
 場所 山形蔵王スキー場
 費用 75,000円以内
 連絡先…原090-3180-3207,松山090-9557-3618,島本090-9557-6886,小松090-3787-6374
 ☆旅行会社と詳細折衝中